



2021年11月9日

各 位

会社名 株式会社住友倉庫
 代表者名 社長 小野孝則
 (コード番号 9303 東証第1部)
 問合せ先 執行役員経理部長 星野公彦
 (電話 06-6444-1183)

通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）
 に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、2021年8月5日に公表しました通期連結業績予想及び期末配当予想について、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。また、2021年11月9日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を下記のとおり決議しましたのでお知らせします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2022年3月期通期連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	208,000	16,800	19,000	13,100	160.06
今回修正予想 (B)	219,000	25,000	27,500	17,500	214.92
増減額 (B - A)	11,000	8,200	8,500	4,400	—
増減率	5.3%	48.8%	44.7%	33.6%	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	192,024	10,963	13,552	8,454	101.72

(2) 理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、物流事業では倉庫、港湾運送、陸上運送の荷動きが堅調に推移するとともに、航空貨物を中心とした国際輸送の取扱いが伸長いたしました。また、海運事業につきましても日本・韓国発北米向けコンテナの輸送数量が増加したほか、春季契約更改に伴い運賃水準が想定以上に上昇したため、当第2四半期連結累計期間の業績は前回発表予想を上回りました（次頁（参考）をご参照ください）。

第3四半期会計期間以降につきましては、物流事業では国際輸送貨物の取扱拡大は第2四半期累計期間との比較では鈍化することが想定されますが、倉庫、陸上運送等の取扱いは引き続き堅調に推移することが見込まれます。また、海運事業では現在の輸送数量及び運賃水準は通期にわたり持続すると見込まれます（注）。このため、通期の連結業績予想を上記のとおり修正することといたしました。

(注) 在外連結子会社の事業年度の末日は12月末日

(参考) 2022 年 3 月期第 2 四半期連結業績実績 (2021 年 4 月 1 日～2021 年 9 月 30 日) と
 前回発表予想との比較

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	102,000	8,500	9,800	6,800	83.04
実 績 (B)	105,789	9,540	10,869	7,700	94.28
増減額 (B-A)	3,789	1,040	1,069	900	—
増減率	3.7%	12.2%	10.9%	13.2%	—

2. 剰余金の配当 (中間配当) 及び期末配当予想の修正 (増配)

(1) 剰余金の配当 (中間配当)

	決定額	直近の配当予想 (2021 年 8 月 5 日公表)	前年同期実績 (2021 年 3 月期第 2 四半期)
基準日	2021 年 9 月 30 日	同 左	2020 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	38 円 00 銭	30 円 00 銭	24 円 00 銭
配当金総額	3,084 百万円	—	2,006 百万円
効力発生日	2021 年 12 月 1 日	—	2020 年 12 月 1 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正 (増配)

	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回発表予想	30 円 00 銭	34 円 00 銭	64 円 00 銭
今回修正予想	—	48 円 00 銭	86 円 00 銭
当期実績	38 円 00 銭	—	—
前期実績 (2021 年 3 月期)	24 円 00 銭	24 円 00 銭	48 円 00 銭

(3) 理由

当社は 2020 年度を初年度とする 3 か年の中期経営計画を定め、中長期の企業価値向上を図るとともに、引き続き株主還元を拡充するとの方針のもと、剰余金の配当については利益水準にかかわらず 1 株につき 47 円の年間配当金を維持することとし、計画期間において増配の継続を目指すこととしております。このような方針のもと、当期の剰余金の配当につきましては、配当性向 40% を基準とすることとし、本年 8 月 5 日には当期の配当予想を 1 株につき 64 円 (中間配当金 30 円・期末配当金 34 円) として公表いたしました。

一方、当第 2 四半期連結累計期間の業績は前回発表予想を上回ったため、2021 年 9 月 30 日を基準日とする中間配当金を直近予想から 8 円増配の 1 株につき 38 円とすることを決議いたしました。また、「1. 通期連結業績予想の修正」のとおり、通期連結業績予想につきましても上方修正することとしたため、上記方針に基づき、当期の年間配当金予想を 1 株につき 86 円、中間配当金を差し引いた期末配当金予想を直近予想の 34 円から 14 円増配の 1 株につき 48 円に修正することといたしました。

(注) 上記の通期連結業績予想及び配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績及び配当金は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上